

第 90 回理事会 議事次第

日本商品先物振興協会

- 日 時 平成 24 年 1 月 20 日（金） 正午
- 場 所 日本商品清算機構 会議室（日商協ビル 1 階）
- 議 案
1. 市場活性化に向けた取組について
 2. 総合取引所に係る今後の対応について

総合取引所に関する主な会員意見

(回答 21 社 : 1 月 19 日時点)

1. 業者規制の一元化に関する意見

(1) 財務規制に関する意見

① 財務規制の強化（自己資本規制比率の適用）を懸念、現状維持を希望
〔同趣旨 7 社〕

② 財務規制強化が不可避なら十分な猶予期間を設けてほしい。〔同趣旨 5 社〕

(2) 勧誘規制に関する意見

① 勧誘規制の緩和を希望〔同趣旨 5 社〕

② 更なる規制強化を懸念（商先法の現行規制を維持）〔同趣旨 2 社〕

(3) システムコストの増大を懸念〔同趣旨 2 社〕

(4) 厳しい規制への統一を懸念〔同趣旨 3 社〕

(5) 一定の経過措置を設けたうえで、業者規制の一元化は必要〔同趣旨 3 社〕

(6) その他

2. 顧客資産の分別保管の一元化に関する意見

(1) 信託保全等による業者の立替負担増を懸念、現行の分離保管制度の存続を希望
〔同趣旨 13 社〕

(2) 早期の一元化を希望〔同趣旨 2 社〕

(3) その他

3. クリアリングの一元化に関する意見

(1) J C C H 方式を希望〔同趣旨 12 社〕

(2) 証券クリアリング方式と J C C H 方式の双方の長所を併せ持った清算機関が望ましい
〔同趣旨 2 社〕

(3) 十分な移行期間が必要〔同趣旨 2 社〕

(4) 対応コスト増を懸念〔同趣旨 2 社〕

(5) その他

4. その他

(1) 総合取引所に対する懸念（商品市場の更なる流動性低下、商先業者の市場撤退等）
〔同趣旨 14 社〕

(2) 総合取引所創設に前向きな意見〔同趣旨 6 社〕

(3) 既存上場商品全般の活性化を望む意見〔同趣旨 4 社〕